

がん遺伝子パネル検査を検討中の方へ

新潟県立がんセンター新潟病院 がんゲノム医療センターでは、がんゲノム医療連携病院として新潟大学病院・国立成育医療研究センターと連携し、がん遺伝子パネル検査を実施しております。

がん遺伝子パネル検査の実施には、患者さんの病状やこれまでの治療歴、病理組織の状態など、いくつかの条件があります。検査をご希望の場合は、必ず主治医と十分にご相談ください。

がんゲノム外来は完全予約制です。患者さんからの直接のお申し込みは受け付けておりません。主治医の紹介を通して、当院のがんゲノム外来をご予約ください。

1. がん遺伝子パネル検査とは

がん遺伝子パネル検査では、手術や生検で得られた腫瘍組織や血液を用いて、がんの特徴的な遺伝子変異の有無を調べます。得られた結果は、専門家によるエキスパートパネルで検討し、適切な治療薬や治療法がないかを評価します。

当院では、健康保険が適用されている5種類のがん遺伝子パネル検査を受けることができます。

■ 費用について（保険診療）

がん遺伝子パネル検査は健康保険が適用されます。

検査実施時：44,000点

結果説明時：12,000点

合計 56,000点（医療費総額 約56万円）となりますが、自己負担は、保険の負担割合に応じて1～3割負担となります。

例) 3割負担の場合は約168,000円となります。

※高額療養費制度の対象となる場合、実際の自己負担額はさらに軽減されることがあります。

※別途、診察料（初診・再診）がかかります。

なお、「高額療養費制度」の対象となる場合は、自己負担額が軽減されることがあります。

※腫瘍組織の状態などにより検査が実施できなかった場合や、結果として有効な治療情報が得られなかった場合でも、検査費用は発生します。

結果が出るまでには約4～6週間かかります。結果説明の予約日時は、改めてご相談させていただきます。体調の変化などにより来院が難しくなる可能性もあるため、ご家族またはそれに代わる方と一緒に受診をお願いしています。

2. 検査結果について

検査結果に基づき治療につながる有用な情報が得られる割合は、約10%程度とされています。治療対象となる遺伝子変異が見つかり、効果が期待できる薬剤が判明した場合でも、必ずしも

その治療を受けられるとは限りません。保険適用が認められていない場合もあります。考えられる選択肢には、以下のものがあります。

① 臨床研究・治験への参加

適格基準に合う治験があるかを検討します。県外施設の場合は、通院の負担が大きくなる可能性があります。

② 先進医療・患者申出療養

保険診療と自由診療の併用（混合診療）は原則認められていませんが、例外として以下の制度があります。

- ・**先進医療**：限られた施設で実施され、先進医療部分は全額自己負担です。
- ・**患者申出療養**：既承認薬を適応外で使用できる場合があります。

③ 自由診療

未承認薬や保険適応外薬剤を使用する場合は、全額自己負担となり、高額になる可能性があります。また、検体の状態によっては、十分な遺伝子解析情報が得られず、検査が中止となる場合があります。その場合も、それまでに発生した費用の返還はできません。

3. 遺伝性腫瘍の可能性について

検査の過程で、治療目的とは別に、がんが生まれつきの体質と関連している可能性（遺伝性腫瘍）が示唆される場合があります。その場合、血縁者の健康にも関係する可能性があります。遺伝性腫瘍の中には、予防や早期発見が可能なものもあります。

このような情報を「知りたいかどうか」は、患者さんご自身のご希望を尊重します。必要に応じて、遺伝カウンセリング外来でご相談いただけます。

4. データの取り扱いについて

本検査のデータは、厚生労働省が設置したがんゲノム情報管理センター（C-CAT）に提供され、日本のがん医療向上のためのデータベース構築に活用されます。

また、検体は匿名化され、個人が特定される形で外部に提供されることはありません。

【問い合わせ先】

新潟県立がんセンター新潟病院　がんゲノム外来
電話（代表）：025-266-5111（平日 9 時～17 時）